



足立浩中央執行委員長

建交労第27回定期大会は、群馬県安中市・磯部ガーデンにおいて、8月30日・31日(土・日)

群馬県安中市で建交労第22回定期大会を開催

建交労大阪府本部
機関紙



発行元 府本部
電話 06-4800-7115

の1泊2日で開催しました。大会は、川路副委員長、長、のあいさつで始まり、議長団には、関東地協・鈴木代議員、中国地協・山室代議員、四国地協・新田代議員を選出。資格審査と議事運営は、各地協から1名と執行部から3名を選出し、始まりました。冒頭に執行部を代表して、足立委員長がはいさつ。足立委員長は、「今年、『貨物自動車運送事業法の一部改正する法案』と同法案の規定を担保する貨物自動車運送事業のための体制の整備等の推進に関する』いわゆるトラック適正化法が6月に可決・成立した。」と述べたうえで、「1990年に行われた規制緩和から35年、物流業界にとって大きな変革です。新法の成立に向けては業界団体である「全日本トラック協会と運輸労連・交通

労連・建交労の3単産の労働組合が共同して成立に向けて奮闘した。建交労トラック部会と集団的な労使関係にもとづく『建交労労使協議会』で一貫して求めてきた要求・要請の柱である、労働者の処遇改善・認可運賃に近い、国が必要最低限のコストとなる適制原価を示すことを明記させることになった。まさに、一致する要求にもとづく政党との協力によるものだ」と強調。さらに、石破首相の暴政、世界大会

や春闘、建交労フェスタにも触れ、むこう1年間の新しい運動方針を確立しようと呼びかけました。その後、廣瀬書記長の運動方針・経過報告・秋季年末闘争方針を提案。鈴木書記次長による会計決算報告・次年度予算案を提案。最後に廣瀬書記長がストライキ権を確立する提案がありました。すべての議案提案後は、討論に入り、大阪から特別代議員として参加された本多副委員長が大阪府本部の活動について



大阪府本部・本多副委員長



関西支部・北村代議員



大阪合同選挙区・菅原代議員

報告。本多副委員長は、「春闘を旺盛にたたかうための3・9トラックパレードを夢洲コンテナヤードで来賓を含め126名で決起集会を行った。その後にトラック・ダンブ車両33台と宣伝カー3台で御堂筋をなんばまでパレードに市民・府民にアピールした。」と発言。また、組織強化として開催した一般組合員向

け学習会と次世代活動家を育成する学習会も開催していることも報告した。また、大阪府から参加した、関西支部・北村代議員は「トラックの集団交渉を大阪府本部と相談しながら再開していきたい。」と要望する報告と生コンの集団交渉について報告。「日々雇用労働者の日額2万1,000円をめざす、誘導員の7

月9月にかけてクーリングタイム（休憩）を増やすこと。」など発言。そして、関西支部設立60周年記念レセプションの開催のご案内についての報告がありました。此花支部・菅原代議員は、「大貨健保交付金を中央本部に復活するよう」訴えました。討論は全体で37名の参加者から発言があり、裁判闘争や権利侵害、

組織拡大、業種別運動の取り組み、中小企業方針の確立を求めるなどを求める発言と報告がありました。各議案はすべて可決成立、大会宣言案と特

別決議案も拍手で確認されました。全体の参加者は、154名と来賓1名、報道1名が参加。大阪府から傍聴を含め4名が参加しました。



国労大阪会館において

建交労大阪府本部第27回定期大会を開催

建交労大阪府本部第27回定期大会は、9月14日(日)午後13時から国労大阪会館大会議室において開催しました。今年の定期大会は、大企業優遇とアメリカ言いなりの政治を転換させ、いのちと暮らしを守る社会へ転換させるのが問われる中での開催となりました。

定期大会は、橋本副委員長の開会あいさつで始まり、議長団には、大阪合同支部・森代議員、此花支部・山本代議員が選出されました。また、議事運営委員には、執行部から岡本執行委員、兵庫合同支部・中原代議員、大阪鉄道本部・山口代議員を選出。資格審査委員には、執行部から北山執行委員、関西支部・神原代

議員、神田支部・竹嶋代議員が選出されました。冒頭に前村執行委員長が執行部を代表してあいさ



大阪府本部・前村執行委員長

つ。前村執行委員長は、「貨物自動車運送事業法の一部改正する法案と貨物自動車運送事業の体制の整備等の推進に関する法案は、運輸労連・交通労連・建交労の労働組合3単産が共同して成立にむけて奮闘した。」と述べ

「労働者の労働条件の改善や中小企業の経営基盤強化の立場から、日本共産党をはじめ、協力共同する政党議員に質疑していただいたことで今回の法律の制定へとつなげた。」と強調。また、この1年間の活動、トラックパレードやJR西日本本社前での抗議宣伝、組織拡大・強化について触れ、「年間50人以上の純増をめざし奮闘しよう!」と呼びかけました。

来賓あいさつに大阪労連・福岡議長、日本共産党・清水ただし元衆議院議員が駆けつけてくれました。その後、資格審査の報告で大会が成立していることを宣言し、1号議案…2025年度経過報告・2026年度運動方針(案)・2025年秋季年末闘争(案)を萩田書記長が提案。2号議案…2025年度会計報告、3号議案…2026

年度予算(案)を前村執行委員長が報告と提案。休憩を挟んで、4号議案…第30回府本部委員会の委員選出基準を工藤執行委員が提案、5号議案…次期中央委員・上部団体への派遣・選挙管理委員選出組織の承認を佐藤執行委員が提案、6号議案…罷業権行使を上田執行委員が提案しました。すべての議案が提案された後、討論に入りました。

代議員・傍聴者の討論

討論では、大阪合同支部・河村代議員と福岡傍聴者2名が権利侵害の訴えがありました。河村代議員は、「絆ホールディングスでの不当解雇」について発言。福岡代議員は、「メンテナンスコシバの組合いじめ、配転問題、不誠実団交、事故弁済金を毎月5万円賃金が差し

引かれる」など悪質な経営実態の訴えがありました。また、阻止強化・拡大では関西支部・紀平代議員が発言。紀平代議員は、「関西支部は、毎週3日、4日間、滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫などで宣伝行動に取り組んでいる。また、ホームページをリニューアルしている。」と発言。労働条件を

改善させた活動の成果では、神田支部・松下代議員と大阪トラック部会（関西支部・東代議員）東事務局長から報告がありました。神田支部・松下代議員は、「業務前に仕事をしているにもかかわらず、長年にわたって、サービス残業になつていたり、改善させた。月8時

間の残業代の上乗せを勝ち取った。」と報告。大阪トラック部会・東事務局長は、「貨物自動車運送事業法の一部を改正する法案」と同法案の規定を担保する「貨物自動車運送事業のための体制の整備等の推進に関する法案」が6月に成立したことを報告。25春闘については、ダンブ鳥川代議員、大阪トラック部



関西合同支部・太田代議員



会・東事務局長が報告。鳥川代議員は、「一時金支給額を倍額の20万円で妥結、特別労災保険掛金の補助金請求で1万円コースの掛金を経営側が4万3,750円補助支給することで妥結した。」と成果を勝ち取った報告。大阪トラック部会・東事務局長は、「現役大型運転手の年収700万円をめざし奮闘している。」と報告。平和行進・原水爆禁止世界大会については、関西支部・松田代議員と関西合同支部・太田代議員から報告がありました。また、最低賃金の意見書採択も求める議員要請では、関西支部・松田代議員から取り組みの報告。松田代議員は、「門真市、四条畷市、守口市など市議会へ最賃意見書を上げ、37会派中36会派と懇談出来た。」と報告。いずれの支部からも活

発な活動と成果の報告があり、運動方針を補強する実りある討論が出来ました。

討論後に荻田書記長が討論のまとめを行い、各議案の採決に入りました。1号議案・3号議案は挙手による採決で満場一致で採決。6号議案は投票による採決、全員賛成で採決。2号議案・4号議案・5号議案は拍手で確認されました。

今大会では、佐藤執行委員が身体上の都合により府本部役員を継続できないことから退任されました。在任中のご厚情に感謝申し上げます。

参加者は、代議員28名、役員11名、傍聴者3名、来賓2名の合計44名が参加しました。

今年の定期大会は、役員選挙がなかったため、すべての役員が再任になりました。